

労働条件の改善・組織拡大に全力

=両支部で定期大会開催=

第38回盛岡支部定期大会が11月5日(約41人参加)に盛岡国労会館で、第58回青森支部定期大会が11月6日(約42人が参加)に青森県労働福祉会館で開催された。地方本部から両支部大会では、エルダー社員を含めた厳しい職場労働条件の改善、組織拡大に向けた取り組み、65歳定年制の要求などで発言があり、両支部の書記長が集約を行い、地方本部と一体となり労働条件の改善や組織拡大等取り組んでいくことを意思統一した。なお、今大会報告は盛岡支部・米田勝義執行委員、青森支部・高瀬貴弘執行委員の寄稿。

エルダー社員の実態報告(盛岡支部)

大会は、議長には戸田代議員(盛岡貨物分会)を選出し、佐々木委員長の挨拶と来賓・議員団の挨拶を受け議事に入りました。

経過・方針では7人の代議員から「若手社員が加入し頑張っている。若手の拡大を目指したい」(盛岡施設分会)、「出向社員やエルダー組合員が多くなり、本務との交流が薄れてきている。出向会社の労働条件も悪く保存休暇が取れない」(一関運輸分会)、「ベテラン社員に次々退職している。エルダー社員で夜勤15回もある、労働条件改善の運動が必要」(関工務分会)、「新入社員向けの情報やグッズを配布し、新入社員の歓迎会を開催する事が出来た。さ



盛岡支部大会/国労会館・盛岡



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
 発行者 佐々木 力
 編集者 及川 孝
 TEL 019-622-5021
 メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2016.12.10
 第1500号

拡大キャッチコピー
 「新しい仲間づくりを 皆の力で」
 「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」

当面の主な日程

- ▽12月13日(盛岡) 岩手県交運協定期総会
- ▽12月14日(盛岡) 第29回盛岡地方運輸協議会 定期委員会
- ▽12月18日(盛岡)

地方本部交渉委員・職協議長・支部役員合同会議
 ▽1月8日(青森) 青森支部地区協・分会代表者会議及び旗開き
 ▽1月9日(盛岡) 盛岡支部地区協・分会代表者会議及び旗開き



青森支部大会/青森労働福祉館

組織拡大の決意固め合う(青森支部)

大会は、議長に小笠原茂俊代議員(八戸工務分会)に選出、阿部委員長の挨拶に続きご来賓の連帯の挨拶をうけ議事に入りました。

経過・方針討論では6人の代議員から、「蟹田駅の管理駅のポイント注油・清掃を青森駅がおこなっている。問題

ではないか。三厩駅長が病欠中。しわ寄せが蟹田駅社員へきている。速やかな欠員補充を望む」(青森駅連分会)、「青森派員化により現在の要員規模は15人程度まで縮小し持ち車も無くなった。エルダー社員の雇用先確保、65歳までの定年延長実現を」

安全・安心・人と環境にやさしい輸送サービス提供

◆青森県交運協定期総会◆

11月24日青森県労働福祉会館で、青森県交運協定期総会が開催された。国労からは蝦名忠夫代議員(青森貨物分会)、工藤誠代議員(野辺地三沢地域分会)の2人と幹事の阿部支部委員長が出席。

総会には代議員24人中23人、幹事会側16人が出席し、総会議長に坂井代議員(自治労)を選出して進められた。

木下議長(JR総連)挨拶のあと、来賓の連合青森山内事務局長、東北交運協小野副議長、東北運輸局青森運輸支局、それぞれの皆様から挨拶を受け議事に入った。

昆野事務局長(JR総連)

からは、一年間の活動経過と業種別会議で議論された政策要求と要請先機関・内容などの報告。交通運輸産業の基本である「安全輸送の確保」「利用者の保護」「情報の公開」「事業の安定」「労働基準法の遵守」などを「中央・東北交運協や構成産別の連携で取り組む」などを柱とした、2016年度活動方針(案)が提起された。

その後、斎藤幹事(JR総連)より2015年度決算報告、工藤監査委員(全自交)の監査報告を受け、経過・決算の承認と2016年度活動方針が確立され、「誰もが安全・安心、人と環境にやさし

い輸送サービスの提供に向け、総力を挙げ奮闘していく」を柱とする総会宣言を全体で確認し、最後に木下議長の音頭で団結ガンパローを三唱し、総会は終了した。

新役員は二本柳幹事(全港湾)が退任し、鹿糠幹事(全港湾)を新しく選出、他は木下議長はじめ会計監査委員16人全員が再任された。

総会後、レセプションが開催され、青森県交運協推薦議員の山名文世八戸市議、齋藤憲雄、秋村光男両青森市議と来賓参加者を含め約40人でお互いに交流を図った。

青森支部委員長 阿部一久

今年から平成採用者交流会が開催され、東日本本部の佐藤書記長を議長に平成採用者6人が職場の状況や国労運動について新鮮な視点で意見を交換し合い交流を深めた。

2日目は、坂口本部委員長が「本部から問題提起」「東日本本部の取り組みと課題」について、組織強化・拡大を中心に提起した。全体討論では9人から組織強化・拡大、17春闘、職場の労働条件改善や本部・東日本本部への要望などの発言がされ、国労が抱える諸課題と解決に向け参加者全体で確認し閉会した。



=講演する福田護弁護士=

国労東北協議会が主催する、第13回東北労働講座(平成採用組合員交流会)が11月20・21日、盛岡市つなぎ温泉「愛真館」で開催され、東北3地本からの参加者と関係者54人が参加した。初日の日程が終了後、国労東北協議会第30回定期総会も開催された。

最初に、国鉄労働会館盛岡地方部が主催する盛岡地区労働講座が開催され、国労弁護士の福田護弁護士を講師に迎え、「鉄道事業における業務外注化と労働問題」と題し、約90分の講演を受けた。

職場活動報告では各地本と貨物協議会の6人の仲間から「組織拡大に向けて職場活動報告」を行った。盛岡地本から、横内俊博さん(盛岡施設)と小林楓さん(八戸運輸)の2人が、①青年の加入が職場に与えた影響②若手社員の職場実態と技術継承の問題③組織拡大に向けた取り組み④若手社員から見た国労組合員についてなど報告を行った。

中でも横内さんから「加入した青年の仲間を増やし、青年が、国労に加入して良かった」と思えるよう今後も取り組んでいきたい」と力強い報告がされた。

54人の参加で学習・交流

平成採用者も意見交換

昨年11月原子力規制委員会は、高速増殖原型炉「もんじゅ」を運営する日本原子力研究開発機構について「適格性について重大な懸念がある」とし、文科省に新たな事業主体を提示せよと勧告した

▼政府は今年9月21日原子力関係閣僚会議を開き、「もんじゅ」について年末までに廃炉を含む抜本的な見直しをきめた。これまで1兆円を超過膨大な国費を費やし、20年以上ほとんど運転できる状態に無かった事を重く見た結果である。我々国民の立場からすれば東京電力福島第1原発事故で明らかになった様に、暮らしへの安全・安心と生命の保証、将来世代にも渡る処理管理費用の負担を考えれば、余りにも遅すぎた決断と言わざるを得ない。2020年に廃炉作業開始を計画しているが、文科省は事故の危険性が低くなるとしてデータ収集の為に、2019年春から9か月の試験期間を設けて約4か月の原子炉運転を計画している▼「もんじゅ」の廃炉決定により青森県に建設された核燃料サイクル関係施設は無用となるはずだ。しかし政府はプルトニウム利用を諦めようとせず、ウランと混ぜたMOX燃料を作り軽水炉で燃やすプルサーマル計画を行おうとしている。青森県大間町に建設中の大間原発は六ヶ所村の「核燃料サイクル施設」で生産するフルMOX燃料を使う、まさに日本で初めての原発となる▼国の原子力政策の一部変更に対し、県や自治体は目先の交付金と雇用の確保だけに拘り、核関連事業の存続・推進を国に要請している。我々は将来世代に「負の遺産」を残すことは絶対にしてはならない(阿)

駅伝・盛岡地本チームが7位

個人80人・駅伝14チームが参加



＝盛岡の2佐々木・4八嶋・5村上選手/個人スタート＝

第21回東日本本部マラソン大会

第21回東日本本部マラソン大会が11月12日、東京都・皇居外周マラソンコース(一周5km)で開催され、盛岡地本から個人5kmマラソンに5人、駅伝競技には5人の仲間が参加した。全体では個人5kmマラソンに80人がエントリーし、駅伝競技には9地本から盛岡・秋田・新潟・高崎・水戸・千葉各1・仙台2・長野2、東京4チームの計14チームが参加、ゴールを目指し競い合った。

個人5kmマラソンは12時15分にスタートし、盛岡チームのトップは八嶋昌二さん

- ▽2区(2.5キロ) 吉田 雅美(盛岡電気分会) 9分24秒(区間2位)
- ▽3区(2.5キロ) 佐藤 隆文(OB) 11分08秒(区間5位)
- ▽4区(2.5キロ) 佐々木義仁(盛岡運輸区分会) 10分18秒(区間4位)
- ▽5区(2.5キロ) 黒井 恒夫(盛岡施設分会) 10分49秒(区間3位)
- ▽6区(5キロ) 千葉 健史(家族) 22分38秒(区間9位)

- ▽個人成績(5キロ)
- ▽八嶋 昌二(青森運輸区分会) 第7位 22分11秒
- ▽村上 敏光(OB) 第13位 23分00秒
- ▽佐々木義仁(盛岡運輸区分会) 第15位 23分24秒
- ▽菊池 憲光(盛岡運輸区分会) 第20位 24分55秒
- ▽花田 長蔵(北上工務分会) 第25位 25分25秒
- ▽駅伝メンバー・成績
- ▽1区(5キロ) 細川 陽平(盛岡施設分会) 23分00秒(区間12位)

東日本本部家族会総会

夕食交流会で 有意義な時間

10月30日、国労家族会東日本連合会総会がさいたま市宇宙劇場研修室において27人が参加(盛岡からは4人)して開催され、2016年度の活動方針、予算などを決定しました。

復旧が難しくバス代行のみで、鉄道の職場がなくなりそうである家族のなんでも気が付いたことを中常に問題提起し風通しを良くし、さまざまな縛りの中でも1人でも多く家族会に参加し現状を共有し「もう」との力強い言葉が印象的でした。続いて、東日本本部の菊池委員長から、定年退職者が増大する中、必死に組織拡大に向け頑張っていること、平和が揺らぐことになれば、輸送機関がいざしれ軍事的なことに利用されてしまう恐れが今の安倍政権にあり、暴走を止めなければならぬことなど、

どの挨拶がありました。総会終了後は、鉄道博物館を見学しました。ボランティアガイドによる鉄道に関わる遺産、資料に対し鉄道の原理や仕組みをそれぞれの時代背景を交えながら説明して頂き学習することが出来ました。夕食交流会で自己紹介しながら現状報告を交流しました。短い時間でしたが色々なお話が聞けて有意義でした。今後も、家族会を基盤に学習と交流を重ねながら、家族会活動を頑張っていきたいと思いを青森支部家族会 田崎 睦子

＝地本運輸協委員会＝

報告された問題点は 整理し改善に取り組み

議長に高橋清光氏を選出

地方運輸協議会では第28回定期委員会を11月19日に盛岡国労会館で開催しました。委員会議長は青森運輸分会の伊勢谷委員が務め、最初に高橋議長が「新幹線開業

運動と交渉の強化、委員会後の組織拡大会議を開催する。昨年より一歩前になる運動の展開を」と挨拶。次に沢田地方本部書記長から定期地方大会の報告を受けました。

続いて、高橋議長の活動方針提起、大森事務局長が決算の報告を行い討論にはいりました。全職場から職場状況や組織拡大の発言をもらいました。主な発言は「盛岡鉄道サ1ピスは年間休日9日少なく5000円の手当のみ、保存休暇の取得の交渉を」(一関運輸分会)、「山田線は安全面で不安、動物との接触も増加、拘束時間が長い行路の解消、20人の運転士養成期間が休みが取れない」(盛岡運輸区分会)、「本日は私ひと

譲れない命の尊厳！人権・戦争・沖縄をスローガンに「憲法理念の実現をめざす第53回護憲大会」が11月12日から14日にかけて富山市で開催され開会総会には1,800人が参加しました。

主権者挨拶で藤本大会実行委員長は「命の尊厳を顧みないのが戦争。戦争をしないと声をあげ続けなさいといけない」と戦争法の発動に突き進む安倍政権を批判しました。

第53回護憲大会／1800人が結集(富山)

憲法の理念を生かす「活憲運動」の強化を

青森支部特別執行委員 小泉 正直

改正試案について取り上げこの試案は内閣が法律と同等な政令を制定でき乱用が危惧される。また、国民に対してあらゆる制限を持つことができ、非常に危険な内容になった

てい問題点を指摘しました。2日目の分科会では第1分科会「非核・平和・安全保障」に参加しました。半田滋東京新聞論説編集委員はPKO5原則を本場に満たしている

て」に対して半田さんは「もし殺し殺される事態になっても現地の法律では地位協があるため裁かれない。国内法によって起訴され、国の命令で行ったものが犯罪になる可能性がある」と答えました。

3日目の閉会総会では青森県憲法を守る会が遠藤三郎賞を受賞しました。護憲大会に参加して私は憲法違反の南ス1ダンPKO派遣の中止・帰国させる闘いと、憲法を現状により近づけ改憲阻止の闘いを強化しなければならぬと思います。

大会には、私のほかに岩手から国労2人が参加しました。

富山実行委員会の佐藤委員長は「南ス1ダン駆けつけ警護、TPP、沖縄、原発再稼働など民主主義が大きく後退させられている。全精力をあ

よう。いま大事なことは憲法の理念や条文を活かすことがいま求められている。『活憲運動』を一大国民運動にし、憲法改悪阻止につなげよう」と訴えました。

その後「漂流する日本政治 安倍政権のこれまでとこれから」をテーマにシンポジウムが開催されました。清水雅彦日本体育大学教授は中山太郎の「緊急事態に関する憲法

のかが。駆けつけ警護はハードルが高く、宿営地の共同防衛のほうが蓋然性が高い。武器使用が現実味を帯びている」と指摘しました。私が質問した「自衛隊の法整備につい

ている」と問題点を指摘しました。2日目の分科会では第1分科会「非核・平和・安全保障」に参加しました。半田滋東京新聞論説編集委員はPKO5原則を本場に満たしている



発言する上ノ山委員(青森貨物分会)

「運転協議会三役体制」議長 高橋 清光 (青森運輸分会) 副議長 湯沢 等 (盛岡運輸区分会) 事務局長 大森 修 (盛岡運輸分会) ※報告・高橋清光

東北ろうきん

ウインターキャンペーン 2016

キャンペーン期間 11/1(火)～12/31(土)

店頭表示金利に金利上乗せ

年0.10%

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入れの方は店頭表示金利に年0.10%を上乗せします。

※「新規預入れ」のみ、「増額預入れ」は対象外です。※窓口での預入れに限ります。※上乗せ金利は「初回満期日」までとなります。※個人のお客様が対象となります。※「ふれ愛預金」「特別金利定期預金」等、一部対象外となる預金があります。

下記対象取引のいずれかを
ご契約・お申し込みいただいた方に、
ヤマセン醤油 もれなく
昆布醤油をプレゼント!

株式会社八木澤商店の昆布醤油150ml

対象取引

- ①定期預金(5万円以上の新規お預入れまたは増額書替)
- ②積立型預金(財形・エース預金)の年間積立額5万円以上の新規契約または3万円以上の増額契約
- ③マイプランの新規ご契約
- ④無担保ローン(マイカーローン・無担保住宅ローン・教育ローン・フリーローン)の新規ご契約
- ⑤住宅ローンの新規お申し込み

※ATMやろうきんダイレクトでの取引も対象となります。(店頭でのお申し込みが必要となります。)*キャンペーンのプレゼントは、個人のお客様が対象となります。*昆布醤油のプレゼントは「1お取引項目につきお1人様1つ」となります。*対象の商品概要については店頭説明書をご用意しております。*詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

2016年11月1日現在